

OPEN UP YOKOHAMA

こころをひらく街

よこはま市民生活白書

1988-1

館内

中央ヨコハマ 262-0050

横浜市立図書館



0002530384

Contents

第一章 くらし

第1節 よこはま人

| | |
|---|----|
| 高感度シティライフ派 | 6 |
| 現代風コンビニ族 | 8 |
| やりくり子育てひたむき派 | 6 |
| 会社中心ひたすら仕事族 | 10 |
| 生活エンジョイ余裕人 | 12 |
| 交際上手カルチャーフ族 | 14 |
| マイペースまじめ標準派 | 16 |
| ぜいたく嫌い保守堅美派 | 18 |
| 暮 | 20 |
| 生活に満足している人は6割 心配ごとがある人も6割 | 22 |
| 生活の重点はレジャー・余暇へ移行 | 22 |
| 衣 | 22 |
| さりげなく自分らしいおしゃれを／ 買い物は「お気に入りタウン」と「便利タウン」で | 24 |
| 食 増える外食や調理食品の利用／グルメブーム／ 飲食に行く街は横浜駅西口と中華街 | 26 |
| 住 自慢の我が家でインテリアに凝る／横浜が好きで住み続けたいという人も多い／ 親との住まい方は古くて新しい問題 | 28 |
| 医 「健康」がイチバン／老後の不安のトップは健康／70すぎてもまだまだ元気／ 30 | 30 |
| 職 新しい職業観の台頭／すすむ女性の社会進出／長い通勤時間 | 32 |
| 充 心の豊かさやゆとりある生活の志向／ 趣味やスポーツで過ごす充実した時間／学び、習う喜び | 34 |
| 遊 活発化するレジャー・余暇活動／遊び方はいろいろ／ 自分時間を大切にする時遊人 | 36 |
| 交 老若男女を問わず大事な友人とのつきあい／ 地域活動やボランティアの中核は40代の女性／市民レベルの国際交流も盛ん | 38 |
| 情 幕うしのなかの情報化／既存メディアの低迷／高いニューメディアへの関心／ うまい話にご用心／老後の頼りは子どもよりお金／ ますます進むギャンブル／カード社会 | 40 |
| 金 子どもは1人か2人？／いぜん高い進学熱／なかなか結婚しない若者たち／ 自立つ熱年離婚／子どもの独立後も長い人生／ | 42 |
| 暮 | 44 |
| 地 域活動やボランティアの中核は40代の女性／市民レベルの国際交流も盛ん | 46 |
| 情 幕うしのなかの情報化／既存メディアの低迷／高いニューメディアへの関心／ うまい話にご用心／老後の頼りは子どもよりお金／ ますます進むギャンブル／カード社会 | 48 |
| 金 子どもは1人か2人？／いぜん高い進学熱／なかなか結婚しない若者たち／ 自立つ熱年離婚／子どもの独立後も長い人生／ | 50 |

1988-2

第二章 交流

第1節 新たなネットワークづくりの潮流のなかで

増えるがん、心疾患、少数民族時代

変容する「地縁」と「社縁」／社会の成熟化のなかで／
知縁によるネットワークの多様な展開／

大人も子どもも地域で育ちあう【土大岡手サラリーマンの会】
丘から広がる、身近な国際交流【緑区国際文化交流協会】

氣負わず無理せずボランティア【わかくさの会】
異業種交流から横浜文化の発信へ【ヨコハマコレクションズクラブ】

みんなが主役で楽しく学ぶ【かなは歴史の会】
この街で暮らし続けていくために【いじょうぶ会】

身近で頼れる助け合いのシステム【汐見台ホムサービスクラブ】

第2節 新たなネットワークづくりが光り始めた

自主的活動は、主婦と高齢者を中心全世代でますます活発化／
市民に根づくボランティア活動／活動の幅を広げる自治会・町内会／

今、横浜の「地域」は／身近な施設が自主的活動を支えている／
自主的活動の活発化が、コミュニケーションを育てる／

第三章 まち

第1節 移り変わるまち

変容する「地縁」と「社縁」／社会の成熟化のなかで／
重厚長大／利差業とともにあつた街【鶴見区・本町通商店街】

分散する都市機能点と地域活性化【西区・横浜駅東口】
コンベンションセンターへと脱皮する街【港北区・新横浜】

新しい駅と新しい街【品川区・東京駅】
発展するターミナル型商業拠点【310万人の商店街】

新しいライフスタイルを生み出す郊外住宅地【西区・横浜駅東口】

「第4山の手」と呼ばれる街【田園都市線沿線】
新「地縁」コミュニティを生み出す街【港北ニュータウン】

生き残る第一次産業を支える地域【新緑】
都市の中での「村おこし」【緑区・寺家町】

東京湾とともに生きる街【金沢区・柴又】

第2節 ひとの生活のあるまち

ひととの生活と沿線
沿線開発の経緯と特色／

東海道・横須賀線・横浜線・東横線・田園都市線／
京浜東北線・根岸線・京浜急行線・相鉄線・市営地下鉄線

人の行動／通勤／買い物に行く街／遊び・飲食に行く街
人の意識

100 96 94 94 91 89 88 86 84 83 81 80 78 76 75 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 62 60 58 56 55 54 52 50 49

Contents

第4章 ヨコハマは

第1節 今、ヨコハマは

| | |
|--|-----|
| 世界都市トーキョーの出現 | 114 |
| 増大する東京圏人口／東京の外延化 | 114 |
| 東京へ集中するヒト／モノ／カネ／情報／東京のもつ悩み | 116 |
| 首都圏のなかの横浜 | 116 |
| 310万大都市となつた横浜／依然として続く東京依存／東京／極集中／横浜 | 118 |
| 進む経済の構造調整／進むソフト化・サービス化／技術革新と産業の融合化 | 120 |
| 高まる郊外部のボテンシャル／進む産業の集積／ハイテク企業等の立地／拠点形成が進む商業集積／郊外部が形成する独自の地域間関係 | 122 |
| 巨大都市空間としての横浜臨海部 | 124 |
| 横浜臨海部の現状／産業からのインパクト／港湾からのインパクト／ | 126 |
| 都市としての一体化／首都圏における国際文化都市として／市民が住む生活文化都市として／横浜が横浜としてあり続けるために／ | 128 |
| 生活文化ルネッサンス／余暇時代の到来／増大する余暇市場／多様化する余暇活動／余暇と結婚／余暇と地域／人生80年時代の到来／家族の変容／都市の主役たちが抱える課題 | 130 |

第2節 あす、ヨコハマは

| | |
|---|-----|
| 新地域主義／地域の再発見／なぜ地域か／地域を支える3つの要素／生活文化圈を支える「みち」／地域における区役所の役割 | 130 |
|---|-----|

ヨコハマウオツチング

| | |
|--|-----|
| 市民／人口／区別人口／大都市比較／外国人／家族／働く都市／ヨコハマ／経済成長率／産業構造／農業／工業／商業／貿易／人口を基準とした経済力／5大市比較／住む都市／下水道／廃棄物／公害／上水道／安全／暮らす都市／ヨコハマ／やぐら／都市／ヨコハマ／福祉／医療／憩う都市／ヨコハマ／学ぶ都市／ヨコハマ／やぐら／都市／ヨコハマ／教育／文化／スポーツ／自立する都市／ヨコハマ／昼夜間人口／業務機能／交通／国際化／財政／ヨコハマ100年の足跡／第一の開港／市の誕生と重工業都市への変貌／横浜市／5重苦／大震災／昭和の大恐慌／戦災／接收と復興／人口急増／重苦をのりこえて／ | 132 |
| 127 124 122 120 118 116 116 115 114 114 | 132 |

第一節 よこはま人

高感度シティライフ派

感

[

Life Style

流行に敏感で新しもの好き。新製品や珍しいものにはすぐとびつき、流行語をとり入れるのも早い。

社交的で友人も多く、友人の誕生日にはプレゼントをしたり、家に呼んでクリスマスパーティーをしたりする。

趣味は多彩で忙しいほど。テニス、スキーやドライブ、旅行などはもちろんのこと、コンサートや演劇にもしばしば出かけ、家に帰れば音楽を聞いたり、映画のビデオを見たりと、めいっぱい遊ぶ。

遊びやおしゃれ、食事などにはお金をかけるが、そのために働いているから当然だと思っている。先のことはあまり考えない。

貯金をするよりも、今欲しいものを手に入れたい。そのため、クレジットカードで買い物をすることも多い。シティライフを存分にエンジョイする都市型生活者である。

感の衣食住

衣：着るものにはお金をかける。ブランドにこだわる。

服のコーディネイトなどセンスには相当の自信あり。

食：味にうるさいグルメを自認。

雑誌や仲間うちで評判の店には一度は足を運ぶ。

住：インテリアにはとても興味があり、DIY ショップに行って自分でいろいろ工夫したりもする。

遊：趣味は多く、いろいろなものに手を出す。

コンサートや演劇に行くのが好きで、自分でも楽器をひく。

買：新製品や変わったものを見つけるとすぐに買ってみる。

交：友人は多く、家に呼んでパーティーをしたり、誕生日などにはプレゼントをしたりと、つき合いをとても大切にしている。

金：クレジットカードをよく使う。

感と横浜

市政への評価：やや不満だが、道路や歩道の整備は進んできたと評価している。

市政への要望：体育館や運動場など、スポーツ施設を充実させてほしい。

定住意識：今の住まいにずっと住み続けるかどうかは分からないが、横浜が好きなので、もし引っ越すとしても、市内に住み続けたい。

横浜のイメージ：ファッショナブルで知的・文化的な街、ハイセンスな雰囲気。

次代に伝えたい横浜の姿：横浜らしい地域文化のある街。

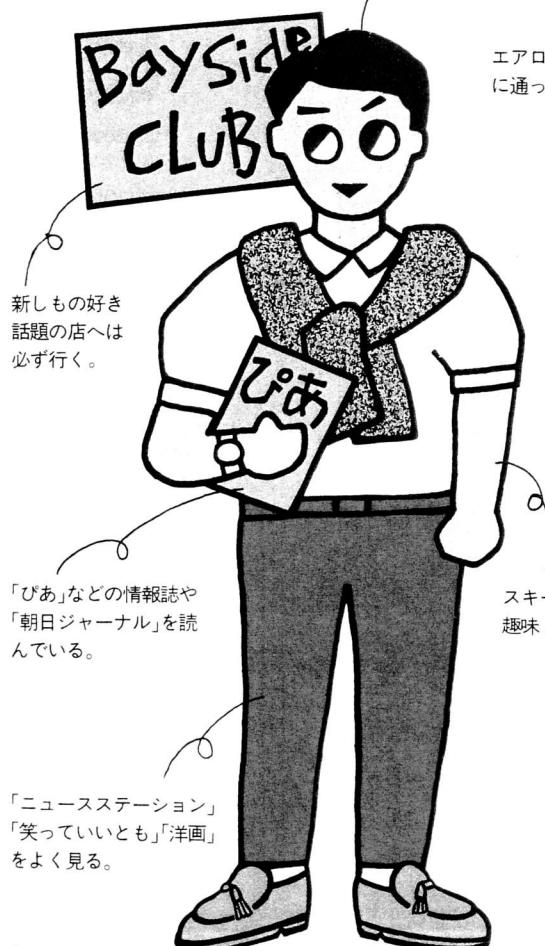
CASE STUDY



| フェイスシート | |
|-------------|--|
| 20代男性 | |
| 独身 | |
| サラリーマン 市内通勤 | |
| 横浜生まれ | |
| 親の家に同居 | |
| 東横線沿線在住 | |

| フェイスシート | |
|----------|--|
| 20代女性 | |
| 独身一人暮らし | |
| OL 東京通勤 | |
| 市内在住3年 | |
| マンション、賃貸 | |
| 東横線沿線在住 | |

よこはま市民生活白書'88 ⑦ [第一章] くじけ



OPEN UP YOKOHAMA

こころをひらく街

よこはま市民生活白書 昭和63年

価額
700円

編集・発行
昭和63年3月
横浜市企画財政局
〒231 横浜市中区港町1丁目1番地
電話(045)671-2015・2016
横浜市広報印刷物登録第620504号
類別・分類A-BA010

編集協力
有岡 真
川崎敦子
木村由理江
志津野知文
杉山幹雄
竹田景子
たもりむつみ
丸山貴美子
森 由香
山田一廣
吉澤直子
吉田早奈枝
若月好和

デザイン
島田デザイン・ルーム
ファクトリー
ポンプワークショップ
宮内デザイン事務所
渡辺 衛

印刷・製本
朝日オフセット印刷株式会社